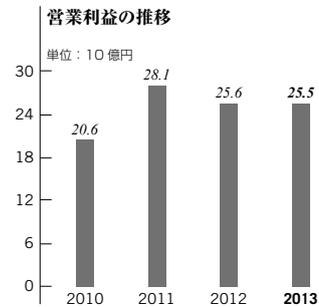
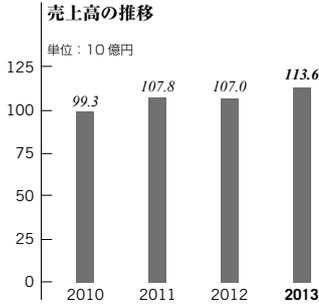
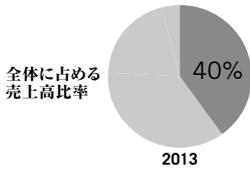


機械加工品事業



当会計年度の機械加工品事業の売上高は113,573百万円となり、前会計年度に比べ6,535百万円(6.1%)の増収となりました。営業利益は、25,459百万円と前会計年度に比べ152百万円(△0.6%)の減益となり、売上高営業利益率(売上高は外部顧客に対する売上高)は22.4%と前会計年度に比べ1.5ポイント減少しました。第1四半期は生産、販売ともに堅調に推移しましたが、第2四半期以降、世界経済の減速とHDD市場の悪化の影響を受け生産調整を実施しました。円安により売上高は増加しましたが、減産による製造コストの上昇で微減益となりました。

主要製品群、市場、市場での位置付け

製品群と主要製品	主要市場	当社の世界市場占有率 ^(注)
ミニチュア・小径ボールベアリング	各種小型モーター、家電、情報通信機器、自動車、産業機械	60%
ロッドエンド&スフェリカルベアリング	航空機	50%
ファスナー	航空機、自動車	—
ピボットアッセンブリー	HDD	70%

注：市場占有率は数量ベース。ロッドエンド&スフェリカルベアリングのみ金額ベース。当社で独自に入手した情報及び市場調査会社の情報を基に、当社が対象とする市場における占有率を推定しております。

事業詳細

前会計年度に比べ、主力製品であるミニチュア・小径ボールベアリングは第2四半期以降、世界経済の減速とHDD市場の悪化の影響を受け販売数量が減少しました。売上高は円安により増収となりましたが、在庫圧縮にむけた生産調整により製造コストが上昇し、減益となりました。ロッドエンド&スフェリカルベアリングは航空機需要の増加に伴い好調に推移し、前会計年度に比べ増収、増益となりました。

ボールベアリング事業では、歩留まり向上と合理化による原価低減を継続して行っております。また、製造の原点への回帰をテーマとして事業の強化を図りながら、基礎技術開発部門の強化も図っております。今後につきましては、2011年に完成した新工場の生産能力を基盤として自動車業界・情報通信機器関連業界への拡販と中径サイズや新興市場向けの低価格量産品の生産を通じて新興国需要の取り込みに努めてまいります。

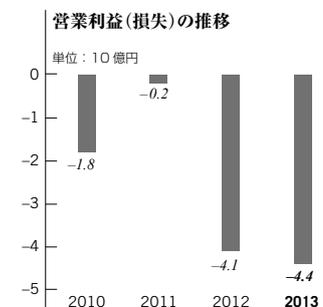
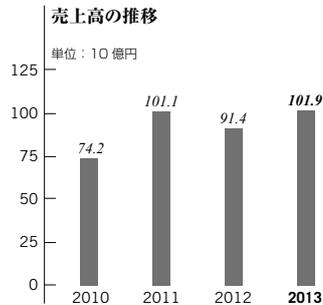
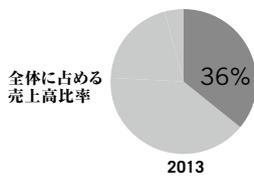
ロッドエンド・ファスナー事業では、2012年のタイの工場の増強により、タイにおける半製品の生産能力の拡大で全体コストの削減を追及しつつ、為替変動への耐性を高めてまいります。

ピボットアッセンブリー事業では、歩留まり向上など継続的な原価低減と増産対応を図っております。ピボットアッセンブリーでの当社の高いシェアとミニチュア・ボールベアリングでのシナジーを生かしつつ、7mm厚用や5mm厚用といった高付加価値製品での高いシェアを維持しながら、収益の拡大を図ってまいります。

主要製品

ボールベアリング ロッドエンドベアリング スフェリカルベアリング ローラーベアリング プッシング
ピボットアッセンブリー メカニカルアッセンブリー 航空機用ネジ類 自動車用ネジ類

回転機器事業



当会計年度の売上高は101,920百万円と前会計年度に比べ10,556百万円(11.6%)の増収となりました。営業損失は4,369百万円となり、前会計年度に比べ損失が250百万円悪化しました。売上高営業利益率は△4.3%と前会計年度に比べ0.2ポイント改善しました。

HDDスピンドルモーターはタイの大規模洪水からの復旧が徐々に進展しました。2012年6月以降に生産調整があったものの、ハイエンド品でのシェア上昇により販売数量は増加しました。情報モーターは世界経済の減速と日中情勢の悪化による需要減少に加え、生産拠点のあるタイや中国の通貨高騰により収益改善が遅れました。

主要製品群、市場、市場での位置付け

製品群と主要製品	主要市場	当社の世界市場占有率 ^(注)
情報モーター (ファンモーター、ステッピングモーター、ブラシ付DCモーター、振動モーター、DCブラシレスモーター)	PC・サーバー、情報通信機器、家電、携帯電話、自動車、産業機械、OA機器	製品により2～70%
HDD用スピンドルモーター	HDD	—
精密モーター	自動車	—
マイクロアクチュエーター	デジカメ、自動車	—

注：市場占有率は数量ベース。当社で独自に入手した情報及び市場調査会社の情報を基に、当社が対象とする市場における占有率を推定しております。

事業詳細

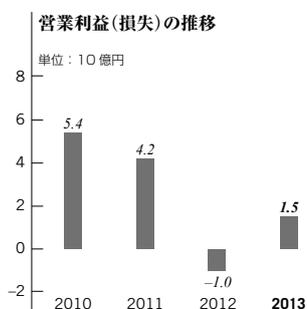
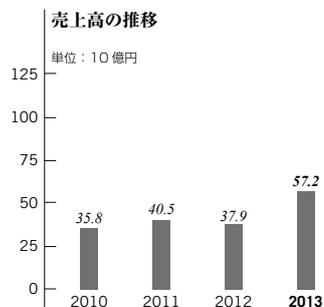
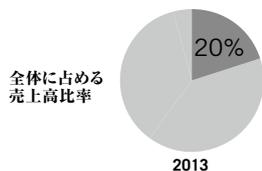
HDDスピンドルモーターは、2012年6月以降のHDD市場の生産調整後も需要の低迷が続いております。タイ大規模洪水からの生産能力の復旧は12月に完了し、外注を含め、需要に対応し安定的に供給する体制は整っています。一方、当社の得意とするサーバー向けやハイエンド品は顧客から品質を高く評価されており、売上高は増加しました。

情報モーター事業では、スマートフォンやタブレットPCの市場急拡大が、ノートPC、HDD、プリンター、コピー機、コンパクトデジカメなどの製品需要に悪影響を及ぼしています。これを受けモーター事業では構造改革に着手しました。①パナソニックとの合弁事業を見直し完全子会社化した後に吸収合併、②振動モーターの事業撤退、③カンボジア工場へのマイクロアクチュエータとDCブラシ付モーターの生産移管による人件費削減、④マイクロアクチュエータ事業部のステッピングモーター事業部への統合、⑤HDDスピンドルモーターなどで一部の生産能力削減による将来の固定費削減などを行い、損益分岐点の引き下げに取り組んでいます。こういった施策によって、回転機器事業の赤字解消を目指します。

主要製品

ファンモーター PMステッピングモーター HBステッピングモーター ブラシ付DCモーター 振動モーター
DCブラシレスモーター HDD用スピンドルモーター 精密モーター

電子機器事業



当会計年度の売上高は57,190百万円と前会計年度に比べ19,303百万円(50.9%)の大幅増収となりました。営業利益は1,531百万円となり、前会計年度に比べ2,490百万円の大幅改善となりました。売上高営業利益率は2.7%と前会計年度より5.2ポイント改善しました。

液晶用バックライトは期中では、生産、販売の増加、減少が激しく変動しましたが、通期では損益が大きく改善しました。計測機器は、第4四半期には生産拠点のあるタイや中国の通貨の高騰による影響を受けましたが、通期では自動車向け販売が回復し業績は堅調に推移しました。

主要製品群、市場、市場での位置付け

製品群と主要製品	主要市場	当社の世界市場占有率 ^(注)
液晶用LEDバックライト	携帯電話、自動車、デジタルカメラ、デジタル携帯端末	20%
計測機器	産業機械、自動車	—

注：市場占有率は数量ベース。当社で独自に入手した情報及び市場調査会社の情報を基に、当社が対象とする市場における占有率を推定しております。

事業詳細

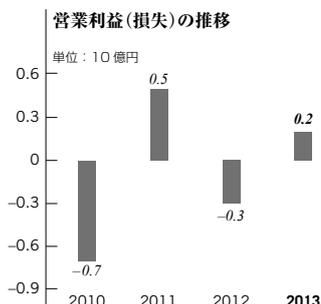
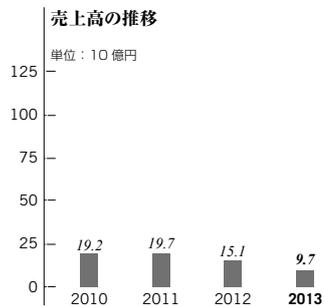
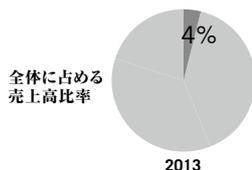
液晶用バックライトは第2四半期から生産、販売が増加し大幅な増益となりましたが、第4四半期には客先の一時的な大幅かつ急激な生産調整の影響を受け、生産、販売が急減しました。通期では前会計年度に比べ業績は大きく改善しました。計測機器は自動車向け販売が回復し業績は堅調に推移しました。

液晶用バックライトは、需要の変動が大きくかつ急激なため、既存顧客の取り込みと平行して新製品の投入と新規顧客の開拓により、需要変動リスクの軽減と積極的な拡販を進め、売上、利益の大幅な増加を図っていきます。一方、計測機器については、新製品の開発と自動車市場向け製品の拡販を進めます。計測機器は産業機械向けに加えて、自動車など新しい市場を積極的に開拓してありますが、今後は医療・介護関連市場、センサーをキーデバイスとしたモーターなどの製品とのモジュール化、システム化で新たな市場への展開を図っていきます。

主要製品

LEDバックライト バックライトインバーター LEDドライバー 計測機器 複合製品

その他の事業



当会計年度の売上高は9,726百万円と前会計年度に比べ5,343百万円(△35.5%)の減収となりました。営業利益は231百万円と前会計年度に比べ570百万円の改善となりました。売上高営業利益率は2.4%と前会計年度より4.6ポイント改善しました。

事業詳細

スピーカーは販売が低迷し、業績は厳しい状況が続きましたが、特殊機器は前会計年度に比べ増益となりました。完成品キーボード事業からの撤退により、売上高は大幅に減少しましたが、利益は改善しました。

主要製品

スピーカー 特殊機器